

本時のねらい

自分の動きとお手本の動きを見比べ、自分の前転の動きに生かす。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

iPadのカメラ機能とオクリンクを使うことで自分の動きとお手本の動きの共通点・相違点に気づき、正しい前転の動きができるようにする。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ iPad
- ・ オクリンク
- ・ カメラ

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○準備体操 ○オクリンクで今日の課題、ポイントを確認する。 ○前転のお手本と失敗例を見て気づきを共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オクリンクで、お手本の見るべき視点等を、班で共有する。
展開 (25分)	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の動きを動画で5分撮影する。 ○お手本動画と自分の動画を見比べて、気づいたことを書く。 ○気づきを班のメンバーと共有する。 ○気づいたことを意識して班で協力して前転の練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前転が最初から最後まで撮れるように撮影者は遠目から撮影する。 ・オクリンクに自分の動画を挿入し、お手本動画を見比べ、気づいたことを書く。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○実技テストとして動画を撮影して提出する。 ○振り返りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・データを提出する。

1人1台端末を活用した活動の様子

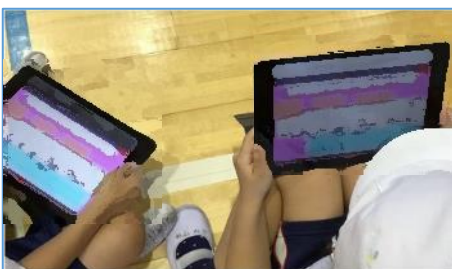


写真1：班で前転のポイントを共有している場面



写真2：相互に前転の動画を撮影している場面



写真3：動画を見返し、気づいたことをまとめている場面

児童生徒の反応や変容

iPadの使い方にも慣れ、動画撮影もスムーズに取り組むことができた。

お手本動画をしっかりと見て、どうすれば上手に前転ができるのかを考えることができていた。ポイントをオクリンクで送ったおかげで、相互に観る視点ができ、友だちの動きを見て、「おへそを見ることができていないよ。」と声をかけることもできていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

時間を決めずに授業を進めていくと、どうしても動画撮影などにこだわってしまい、それだけで時間がかってしまうことがある。そのため、iPadを使う際には時間を指定して、iPadを使うときと身体を動かすときを分けて授業をした。

また、動画を撮ることで、自分の身体の使い方が可視化され、お手本とどう違うのかを見つけることができ、それを班で共有することで、どうすれば上手に前転ができるのかを見て、協力して解決することができた。

最初の前転の動画と最後の前転の動画を比べると、全員スムーズに美しい動きに変わっていたので、自分を客観視することの重要性を感じた。